

事業報告書

自 令和 6年4月 1日

至 令和 7年3月31日

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
鶴岡市伊勢原町8-32

令和6年度 事業報告

事業の実施にあたっては、事業計画に基づき、国際交流促進事業、国際理解促進事業、多文化共生促進事業、国際村施設管理運営事業の4つを主要な事業として進めてまいりました。国際村を開設して30周年という節目にあたり、主要な事業を周年事業に位置付け新たな催しを加え、JICA 東北と連携しながら防災関連事業にも取り組みました。

令和6年度に実施した主な事業は次のとおりです。

1. 国際交流促進事業

地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種の催しを実施した。

(1) 交流イベント開催・支援事業

①第29回出羽庄内国際村ワールドバザールの開催 (実行委員会)

- 期 日 6月8日(土)、9日(日)
- 参加者等 8日(前夜祭)約300名
9日(本祭り)約1,500名
一般ボランティア 約100名
- 会 場 国際村全館、中庭等
- 内 容 出羽庄内国際村 設立30周年記念として、2日にわたって多文化交流フェスティバルを開催した。

<前夜祭>

のど自慢大会 6カ国26名参加

世界の料理模擬店 8カ国9グループ

<本祭り>

ステージ 12団体

世界の料理模擬店 12カ国15グループ

フリーマーケット 14店

関係団体のパネル展示等 16団体

国際村登録団体・ボランティアによるバザー、
ボッチャの体験会 等



②出羽庄内国際村音楽祭 (実行委員会)

「シタールの響き ～悠久のネパール音楽～」

○期 日 8月24日(土)

○来場者等 115名

- 会 場 国際村ホール
- 内 容 シタール奏者サワン・ジョシ氏を招いてネパール古典音楽のコンサートを開催し、民族楽器や舞踏の紹介を通して国際理解を深めた。

③新年を祝う会

- 期 日 1月26日(日)
- 参加者等 約120名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 日本語教室学習者、語学講座関係者、ボランティアなどの参加者が一人一品を持ち寄って行う交流会。



ゲーム、歌や踊り、楽器演奏などのステージ発表、日本文化である書道や茶道の体験等を行った。

(2) 交流事業の開催支援／実施

①コロラド州青年訪問団 受け入れ事業

- 期 日 6月13日(木)から20日(木)
- 参加者等 高校生9名 引率1名
- ホストファミリー 9家庭
- 会 場 鶴岡市内各所
- 内 容 朝暘第四小学校、鶴岡中央高校、鶴岡東高校、羽黒高校を訪問し、児童・生徒との交流を図った。鶴岡市内のホストファミリーに全泊し、市民との交流を深めた。

②留学生ホームステイ・ホームビジット in Shonai (主催)

国際村に登録しているホストファミリーの協力を得て、年末年始休暇等を活用し、ホームステイ・ホームビジット事業を行った。対象を庄内在住の留学生とし、地域住民の相互交流と理解の促進を図った。

- 6月29日 チュニジア、フィンランド留学生(鶴岡高専) 計2名
- 7月29日 ドイツ留学生(鶴岡高専)1名
- 12月24日 ガーナ留学生(山形大学農学部)1名

③山形大学農学部ウインタースクール ホームステイ支援

毎年、山形大学農学部で行っているウインタースクール事業で来鶴するドイツ人留学生に対し、ホームステイ先の紹介、マッチング等の支援協力を行った。

○期 間：2月23日～25日、2月28日～3月2日（計4泊6日）

○宿泊者：ドイツ人留学生5名（女性4名、男性1名）

○受け入れ家庭：4家庭

※来日学生は17名。国際村に登録しているホストファミリーへ募集をかけたが必要家庭数には満たなかった。

（3）国際姉妹・友好都市等との交流促進

①鶴岡・ニューブランズウィック友好協会 訪問団派遣事業（市主催）

○期 日 6月22日～27日

○参加者等 友好協会長1名、幹事1名

○内 容 鶴岡市長をはじめ10名がニューブランズウィック市を訪問し、3月に行われる中学生親善訪問団の派遣などについてニューブランズウィック市長や友好協会会員等と打合せを行った。

②鶴岡・ニューブランズウィック友好協会 つるおかふうどフェスタ参加（市主催）

○期 日 12月7日（土）

○会 場 グランド エル・サン

○内 容 鶴岡市ユネスコ食文化創造都市認定10周年を記念した食文化のイベントで、友好協会の活動紹介・ニューブランズウィック市の紹介をした。

ニューブランズウィック市からシェフ2名と国際交流課長らがイベントの為に来鶴し、友好協会主催の歓迎会を開催した。

③鶴岡・ラフォア友好協会 つるおかふうどフェスタ参加（市主催）

○期 日 12月7日（土）

○会 場 グランド エル・サン

○内 容 鶴岡市ユネスコ食文化創造都市認定10周年を記念したイベントで、ラフォアの郷土料理ブーニャを販売し、友好協会の活動紹介などをした。

④鶴岡田川地区日中友好協会

○「春節を祝う会」の開催（2025年2月2日）参加者62名
手作り水餃子、本場の麻婆豆腐、日本の正月料理のお雑煮などの料理の他、二胡演奏や太極拳の演武などを通して中国文化の理解を深め、会員の交流を図った。

○ 中国語講座の実施：初級、中級の2クラス。参加者15名。

2. 国際理解促進事業

(1) 語学講座の開講

学習者のレベルにあわせた英語、中国語、韓国語の講座を開講。また、短期講座として入門向けのベトナム語、ドイツ語講座を開講。

対象言語を母語とする外国出身者が講師を担当することにより、言語の習得と共にその国や地域に対しての理解を深めた。

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語では、時々話題を自由に話せるフリートーク型講座を開催した。

①外国語講座

○英 語	5 3 名
○中 国 語	3 2 名
○韓 国 語	9 1 名
合 計：	1 7 6 名

②フリートーク型講座

○英 語	毎週火・日曜日
○中 国 語	毎週木・土曜日
○韓 国 語	毎週土曜日
○スペイン語	毎週土曜日
○フランス語	毎週火曜日
○参加者数	延べ 1 0 6 6 名

③短期外国語講座

○ベトナム語	1 0 月～1 2 月	全 1 0 回開催	5 名
○ドイツ語	1 0 月～1 2 月	全 1 0 回開催	1 1 名
合計：	1 6 名		

④韓国語 特別講座

○期 日	1 0 月 2 0 日
○指 導 者	4 名（うち 1 名は財団スタッフ）
○参 加 者	1 4 名（うち賛助会員は 6 名）
○会 場	国際村ホール
○内 容	「友達と釜山へ go go～！」というテーマで、4 つの場面を設定し、実践的な韓国語会話の講座を実施した。

⑤英語 特別講座

- 期 日 2月23日
- 指 導 者 4名
(出身国：フィリピン、カナダ、フランス、インドネシア)
- 参 加 者 16名(うち賛助会員2名)
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 「English World Tour at Kokusaimura ～英語を使って 世界の人とつながろう！～」というタイトルで、4つの場面を設定し、ネイティブスピーカーと一緒に実践的な講座を実施した。

(2) 国際理解講座等の開催

子どもから大人まで、それぞれの興味に応じて参加できるよう、料理や体験講座など国際理解のためのカリキュラムを作成し実施した。

①せかいの台所：料理講座

日本在住の外国出身者を講師に迎え、料理を通して交流し、その地域の言語や文化などの理解を深めた。(年6回開催)

- 指導者出身国(地域)
マレーシア、フランス、ベルギー、モーリシャス、ペルー、中国
- 参加者 延べ117名
- 会 場 調理実習室、和習室

②ワールドコミュニケーションクラブ

- 指 導 者 クレア・ミラー氏(鶴岡中央高校ALT)～7月
シャーロット・ホール氏(鶴岡市中央高校ALT)10月～
リスチ・ストロ氏(インドネシア出身)
- 参加者等 中学生～高校生 延べ58名
- 会 場 ホール、研修室ほか
- 内 容 月に1回実施し、英語を使ったクイズやゲーム、プレゼンテーション作りなどに取り組んだ。コロラド州からの訪問団とアクティビティを通して交流するなど、英語や異文化を実践的に学んだ。

③フレンドシップサロン

外国人や海外活動経験者を講師に迎え、様々な知識や理解を深め、参加者が自由に意見交換できる講座を3回開催した。会場は国際村内喫茶店「ふるさと」。

- 第1回 「インドネシアってどんな国？」
 期日：8月31日
 スピーカー：カロリン・ジルバート氏
 (インドネシア・ジャカルタ出身／鶴岡市在住／山形大学
 農学部修士課程)
 参加者：18名
- 第2回 「農業開発支援と平和構築」
 ～ブラジル、パキスタン、タジキスタンなどを事例に～
 期日：10月19日
 スピーカー：渡部 直人氏 (鶴岡市在住)
 参加者：10名
- 第3回 「カザフスタン～遊牧文化と地理～」
 期日：12月21日
 スピーカー：ナクポバ・アマル氏
 (カザフスタン・アルマティ出身／鶴岡市在住／羽黒高校1年生)
 参加者：22名

(3) コロラド訪問団派遣

①コロラドスタディーツアー 異文化理解プログラム

※令和6年度は実施せず

②コロラドスタディーツアー 英語短期集中プログラム

※令和6年度は実施せず

コロラド青年訪問団ユース・イン・アクション来鶴時に、引率のジョアン・リッツィさんから当プログラムやコロラド州との交流に興味がある人へ説明していただいた。

(4) 庄内地区中学校英語暗唱大会

青少年が国際語である英語に親しみ、言語力を高め、広くその活用を図るとともに、今後のグローバルな社会の一員に資する、国際感覚豊かな青少年の育成を目指すことを目的として実施。

- 期 日 2月9日(日)
 ○参加者 庄内在住の中学校1,2年生11名
 ○会場 国際村ホール
 ○内容 英語の課題文を暗記し、発表するコンテスト。



3. 多文化共生促進事業

在住の外国出身者が地域で安心して暮らせるよう、日本語指導、日本文化の体験、生活相談業務、情報の収集提供など各種事業を下記内容で実施した。

また、山形県の日本語教育総括コーディネーター業務を受託し、財団でこれまでに蓄積した日本語教室のノウハウや多文化共生関連の豊富な経験をもとに、県担当課職員と共に県内の4地域の自治体や国際交流協会、企業を訪問した。これは、日本語教室運営の空白地域の解消と増加する在住外国出身者への対応を図るもので、10市町村、9協会、6企業を訪問し、各地域の日本語教育推進状況を調査するとともに、やさしい日本語の啓発活動を行った。今回のコーディネーターには、経験豊富な相談員に加え、日本語教室のボランティア講師も帯同した。

(1) 日本語教室運営支援事業

毎週日・水・土曜日に開催している国際村日本語教室の運営の支援を行った。

①日本語教室

○開催日 毎週日・水・土曜日及び学習者のニーズに応じて実施

○体制 日本語指導者ボランティア 47名

○学習者 165名(30ヶ国・地域)

アメリカ、イギリス、インド、インドネシア、オランダ、カザフスタン、カナダ、カメルーン、韓国、カンボジア、ケニア、シリア、スペイン、タイ、台湾、中国、ドイツ、ナイジェリア、ネパール、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ブラジル、ベトナム、ベルギー、ボリビア、マレーシア、モーリシャス、モンゴル、ルワンダ

○会場 出羽庄内国際村、にこ・ふる、第三学区コミュニティセンター、オンライン



○その他の活動 書道教室(8回)、茶道体験(9回)実施した

○指導ボランティア事務局会議及び総会の実施

②第13回日本語スピーチコンテスト in 庄内

(主催：実行委員会、事務局：酒田国際交流サロン)

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外

国出身者による日本語スピーチコンテストを実施した。

- 期 日 11月10日
- 参加者等 暗唱の部：4名（鶴岡市4名）、
スピーチの部：6名（鶴岡市4名）
来場者：約50名、YouTubeのアカウント：4
- 会 場 酒田市公益研修センター1階
次回の開催地は遊佐町

③日本料理講座：器の会

外国人向けの日本食文化の料理講習会を開催した。

- 期 日 第1回目 10月20日
彩り舞たけご飯、揚げだし豆腐、
きゅうりとキャベツの即席漬け、栗蒸し羊かん
講師：新藤けい子氏、佐藤貞子氏
- 第2回目 2月22日
和菓子（練り切り）
講師：本間 三英氏（住吉屋菓子舗）
- 参加者等 延べ12名

④田川地区運動会参加

- 期 日 5月26日
- 参加者等 運動会：56名、反省会：10名
- 内 容 田川地区で開催される地域の運動会に日本語教室として参加し、地域住民との交流を深めるとともに、日本の文化や習慣などについて学ぶことができた。

⑤ぶどう狩り

- 期 日 9月22日
- 場 所 櫛引の果樹園
- 参加者等 47名
- 内 容 ぶどう狩りを通して、日本語教室の学習者と指導者が懇親を深めながら、日本の季節行事を体験した。

⑥日本語指導ボランティア 養成講座

自分が住んでいる近くで日本語を学びたいという外国人住民のニーズに対応するため、日本語を教えるボランティアの養成講座を行った。

◆第1回目 国際村日本語指導ボランティア 養成講座

- 期 日 5月26日～6月30日 全6回
- 講 師 武藤 文氏 (国際村日本語ボランティア)
工藤 智美氏 (国際村日本語ボランティア)
佐藤 幸 ((公財)出羽庄内国際交流財団事務局次長)
- 参加者 11名 (新規9名)
- 内 容 国際村日本語支援ボランティアの活動に関心・興味のある方を対象にした研修会。国際村日本語教室の紹介、日本語指導の基礎と実践、国際村日本語教室での見学。

◆第2回目 オンラインを使った日本語指導のコツ 研修会

- 期 日 第1回 令和6年12月22日(日) 13:30～16:00
第2回 令和7年1月12日(日) 13:30～16:00
- 講 師 村上充(まこと)氏
- 参加者 延べ39名
(第1回対面:16名、第2回オンライン:23名)
- 内 容 日本語指導経験のある方を対象にした研修会。
オンライン機器の操作方法、パワーポイント作成のポイントや注意点、オンラインでの指導方法のコツ及び『いろどり』、『大地』などの教材の活用方法を学んだ。

※「山形県日本語ボランティア育成支援事業費補助金」を活用



(2) 生活相談業務実施事業

生活相談業務担当者として国際交流専門員を配置し、必要に応じ行政、他の機関とも連携し、相談に対応した。

①生活相談窓口の設置

在住外国人及びその家族、外国人関連企業等の相談業務を実施した。
在住外国人及びその家族、市役所や外国人関連企業等の相談業務を実施した。

- 生活相談等 66件
- 内 容 教育・子育て: 12件 医療・福祉: 3件

生活環境： 3件 労働関係： 7件

家族・家庭： 6件

年金・税金： 2件

その他（在留資格等）： 33件

○相談受付方法 窓口、電話、携帯電話、LINE や WeChat、メッセージャーなどの SNS

②通訳・翻訳の対応

○依頼件数 91件（通訳74件、翻訳17件）

○依頼主 個人61件、公的機関22件、企業6件、その他2

○言語 英語、中国語、韓国語、インドネシア語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ウルドゥ語

○内容 医療関係： 38件 生活全般： 22件

教育関係： 10件 観光関係： 6件

その他： 15件

○対応 国際村スタッフ： 39件 通訳ボランティア： 74件

その他： 2件

（通訳ボランティアの中、コミュニティ通訳として対応したのは、33件）

通訳の依頼、特に医療関係の通訳の依頼が増えていた。

③コミュニティ通訳者自主勉強会

外国出身者も参加して医療や教育、観光など通訳シミュレーションを行いながら専門用語や適切な表現などを学んだ。中国語、英語、韓国語の3グループが、それぞれ毎月1回の勉強会を行った。

○期 日 各言語 毎月1回土曜日か日曜日開催

○中国語 11回開催 参加者： 66名

○英語 11回開催 参加者： 61名

○韓国語 12回開催 参加者： 39名

○会場 研修室、小研修室、応接会議室

④生活ガイドブック・情報マップの配布

地域在住の外国出身者向けに、生活に必要な基本情報を記載した多言語版生活ガイドブックとマップ、国際村紹介パンフレット（5言語記載）『ようこそ出羽庄内国際村へ』を国際村窓口及び関係機関（市役所市民課）に配布した。

⑤外国人支援者向け防災セミナー、防災研修&避難所体験の実施

（鶴岡市、独立行政法人 国際協力機構 東北センター（JICA 東北）、
（公財）出羽庄内国際交流財団 共催事業）

- 期 日 10月27日
- 場 所 出羽庄内国際村ホール
山形県防災学習館（三川町）
- 参加者等 支援者参加者 約40名
外国出身者 約40名
- 講 師 第1部 松元秀亮氏（独立行政法人国際協力機構）
千川原公彦氏（ウェザーハート災害福祉事務所）
- 内 容 第1部は支援者と外国人の2グループに分かれ、支援者は
防災セミナー、外国人は防災学習館での実践的な研修を行
った。第2部では支援者と外国人が合同で模擬避難所の体
験研修を行い、段ボールベッドやマンホールトイレの設置や
非常食の試食などを行った。
※例年日本語教室が行っている「施設見学会」は、この研
修の防災学習館見学会に参加することとして実施した。

（3）やさしい日本語研修会

外国出身の住民や子どもなどに広く活用できる「やさしい日本語」を多くの人
が身につけ、よりスムーズなコミュニケーションに活かすことを目的に、様々な
機会をとらえ研修会を実施した。

①山形県消防学校第69期初任科で、やさしい日本語研修を行った。

- 期 日 7月19日
- 会 場 山形県消防学校（三川町大字横山字堤 27-1）
- 対 象 者 第69期初任科生51人
- 講 師 当財団事務局次長 佐藤幸

②鶴岡市新規採用職員研修において、外国出身住民等へのやさしい日本語を使 った対応を学ぶことを目的に実践的な研修を行った。

- 期 日 10月18日
- 会 場 鶴岡市立農業経営者育成学校
- 対 象 者 鶴岡市新採職員
- 講 師 当財団事務局次長 佐藤幸
- 協 力 者 外国出身者6名
(韓国、インドネシア、ボリビア、フランス、中国)

③一般市民向けのやさしい日本語研修会を行った。

- 期 日 11月30日
- 会 場 出羽庄内国際村 ホール



- 参加者 一般 14名
- 講師 財団事務局次長 佐藤幸
鶴岡市防災安全課 岡部純氏

- 協力者 出羽庄内国際村日本語教室等の外国出身者4名

(4) 情報収集提供事業

国際化に対応するための情報の収集・提供するためのシステムづくりを進めるとともに、ホームページの充実を図った。また会報を発行した。

①インターネットによる情報提供

ホームページやフェイスブック等で講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供した。

②会報の発行及びイベント情報などの提供

「国際村だより」を発行し、会員に国際村のイベント情報などを提供した。

4. 国際村施設管理運営事業

鶴岡市より、平成26年度から、国際村の指定管理者に選定され、引き続き施設の使用許可に関する業務を受託するとともに、これまで市が直接行ってきた施設設備の維持管理業務についても受託し、利用者の利便性、サービスの向上が図られるよう努めた。

5. その他

(1) 賛助会員

○令和6年度実績

・個人会員 248名 ・法人会員 22口

(2) 本財団評議員会・理事会の開催状況

①評議員会

臨時評議員会（令和6年4月5日 みなし決議）

第1号議案 監事の補欠候補について

定時評議員会（令和6年6月18日）

報 告 令和5年度事業報告について

第1号議案 令和5年度収支決算について

②理事会

第1回理事会（令和6年5月22日）

- 報 告 令和5年度事業報告について
第1号議案 令和5年度収支決算について
第2号議案 令和6年度定時評議員会の開催について

第2回理事会（令和7年3月27日）

- 第1号議案 令和7年度事業計画について
第2号議案 令和7年度収支予算について
第3号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団職員給与規程の一部
改正について
第4号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団臨時職員等の採用、給与、
勤務条件等に関する要綱の一部改正について

③監事監査

令和5年度事業報告及び収支決算に関する監査（令和6年5月14日）